

看護部だより

ひまわり



2022年1月
発行責任者 田口 弥生

VoL.75



新年のごあいさつ

副院長兼看護部長 久々湊 智予

新年あけましておめでとうございます。
昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。
皆様のご協力のおかげで8月の回復期病棟を感染症病棟として運用できたことに深く感謝申し上げます。

昨年の11月30日アフリカ南部のナミビアから入国した30代の男性が、新型コロナの新たな変異ウイルス「オミクロン株」に感染したことが確認され、あっという間に広がり始めました。仕事始め早々に新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れ、連日保健所より入院依頼があり、病院の役割を果たすべく包括病棟を感染症病棟として運用していくことになりました。オミクロン株は皆さんご承知の通り、個室扱いとなります。当初の予定通りにはいかず、包括病棟をすべて使用しての運用となりました。また、先の見えない世の中になりました。

2022年は60年に1回訪れるという壬寅（みずのえ・とら）なんです。そして2022年は何か始めると身を結んでいく！という年でもあるようです。ダイエットもよいかもかもしれません。目標を書き出し、毎日見る（見えるところにおいたり、貼る）このことをするだけでも脳が反応して少しずつやる気がおきてきます。そして、今年は年間を通してお財布を新しくするには適した年。特に3月26日（土）この日がお勧めと、めめきんブログにありました。

何をするにも皆さんのご理解とご協力が必要です。本年もよろしく願いいたします。



院内研修

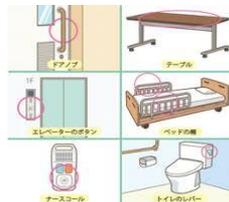
リーダーⅢ研修「感染対策の実践」を受講して



回復リハビリ病棟 村岡

今回の研修テーマのCDとESBLは、病棟内で対応することがあります。毎回「これって便がどうなったら解除になるの?」「標準予防策でよかったかな?」との言葉が飛び交い、感染管理者にSOSを出すことを繰り返しています。今回受講したことで「それは72時間でいいんだよね」と周囲と言い合えるようにしていきたいと思います。

研修で一番印象に残っているのが「ベッド柵のフレームに白衣が触れているイラスト」でした。エプロンの重要性も改めて認識しました。



外来 上野

今回の研修では、偽膜性腸炎とESBLの基礎知識や感染対策について学びました。実際に病棟で働いていると対応することが多い感染症ですが、自分の感染症に対する知識が乏しいため毎回対応に苦心していました。研修に参加することで、偽膜性腸炎・ESBL患者の使用物品の取り扱いや消毒薬の選択、排泄物の処理方法など今まで疑問に思っていた様々なことを学ぶことが出来ました。実践されている感染対策について、組織の一員として確実に実施することができるようになりたいと思います。

急変時シミュレーション実施報告



4階西病棟主任 松下

今年度は、ACLS取得スタッフ、教育委員を中心に、救急シミュレーション年間計画を立て、段階的に取り組みました。①心電図波形の見方の学習②AED使用方法、心臓マッサージ方法の実践③挿管介助、救急カート内の薬剤選択と使用方法④机上でのシミュレーション実施 ⑤マネキンを使用したシミュレーション実施 担当スタッフが事例を考案し、マネキンを使用して1) 窒息事例 2) 心停止発見時からの対応を実践しました。

新人、3年目以下、リーダーをとるスタッフ、中途・病棟異動者を含め、実践では4人を想定し実践しました。実践→反省・課題→評価者からのフィードバックができたことは良かったと思います。急性期病棟であり、急変リスクの高い患者も多く、思考力、判断力は問われるため、継続的に急変時対応についてのシミュレーションを実施していきたいと思います。



HCU主任 吉永

HCU再開に伴い、新たに配属されたスタッフに対し、救急シミュレーションの一環として、人工呼吸器・除細動器についての勉強会を開催しました。

HCUでは患者4人に対し看護師1人という看護体制で、いつ・何時・どんな患者の入院があるかわからない状態の中、スタッフは常に緊張感を持って業務遂行しています。入院時や、入院中の経過において、患者さんの急変に遭遇する事も少なくはありません。現在、HCUには、人工呼吸器、除細動器が常備されていますが、必要時にはCHDFやIABPを装着する患者さんもおり、スタッフ全員が機器の役割や特性、管理方法や設定方法、またCHDFにおいては血液回収などの操作も習得する必要があります。今後もスタッフ教育・モチベーション維持のために定期的の実施し、質の高い看護提供を実施できるように研鑽していきたいです。



院外研修



<県看護協会主催>

「看護職としての第一歩」を受講して

3階東病棟 松元

今回、初めて看護協会が主催する研修に参加しました。鹿児島県内の病院から新人看護職員が集まり、グループワークなどを通して色々な悩みや不安に思っていることなどを共有することができ、とてもいい機会となりました。講義のなかで、患者が療養している環境や全体をみる視野の広さが大事であるという言葉が一番印象に残りました。今の自分は、目の前のことを行う事で精一杯な部分があり、療養している環境や患者全体をみることが出来ていないと気づき、その大事さを学ぶことが出来ました。今回、学んだことをすぐ実践できるようにしていきたいと思います。



4階東病棟 堀之内

先日、鹿児島県看護協会主催の研修に参加してきました。鹿児島県内の各病院から、1年目の看護職が集まり現在困っていることや感じていることについて共有しあったり、事例に基づいて患者に寄り添うとはどのようなことか話し合ったりと新鮮な体験をすることが出来ました。看護倫理についての講義もあり、改めて拘束の在り方や、認知症の方への対応など考えさせられました。看護職として責任ある行動とはどのようなものか考えながら日々の実践にいかしていきたいと思います。

「実践！アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」を受講して



PFM 森山

PFMでは、入院前の面談を行っています。初対面のため、患者・家族に今後の事をどのように聞けばいいか悩んでおり、ACPの研修を受講しました。ACPは癌患者だけに聞くのだと思っていましたが、年齢や健康状態を問わないことや、「何を希望するか」ではなく「なぜそのことを希望するか」など、選択肢を多く提供する事で意思決定権の質が変わっていくことを知りました。そのことを踏まえて、面談をしていきその人に寄り添えるような関りをしていきたいです。

<日本看護協会主催>

「認定看護管理者教育課程：セカンドレベル教育を受講して」



3階東病棟師長 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 福永

2021年8月より31日間、認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講させていただきました。病棟スタッフの皆さんのご協力により無事終了することができました。セカンドレベルでは、ヒト・モノ・カネの資源をどのように有効活用すれば病院経営に貢献できるのか、病棟としてどう行動すべきかをより深く学ぶ機会となりました。今後は、スタッフの皆さんの協力も得ながら、患者さん・家族にとって満足していただける病棟・病院経営にも貢献できる病棟を目指し、学びを活用していきたいです。

「医療安全管理者養成研修」を受講して



HCU主任 皮籠石

12/12(日)日本看護協会主催「医療安全管理者養成研修」を受講しました。当日受講する為には40時間以上になるe-ラーニングの受講と科目ごとのテストに合格する必要がありました。そこで、医療安全管理者としての知識・態度・心構えを学ぶことができました。当日の研修では、RCA分析を用いてのグループワークであり、1日を通して3事例を6名のメンバーで行いました。RCA分析は「出来事流れ図」を作成、「なぜなぜ分析」を多職種と行うことで根本的原因を追究する分析方法で、一連のながれとして対応策・評価の計画を実績的に学ぶことができました。今後は、現場で学んだことを実践的に役立って行きたいと思いました。

ミニナラティブ

HCU 下茂

学生時代を含めると、看護の世界に入り、早、17年目になりました。様々な患者と出会い、様々な体験をさせて頂きました。10年程前の話になりますが、50代男性、肺癌末期、食道と気管に瘻孔を形成し、食道と気管がつながった状態の患者を担当しました。ADLは自立、食事・飲水は絶対に禁止の状態でした。余命1か月の宣告、ある朝のラウンド時に、患者より「どうせ死ぬなら、好きなものを食べて悪くなってもいいから死にたい煙草も入院前から辞めていたが、もう一度だけ吸って死にたい。一回の人生だから俺の好きにさせてほしい。」という訴えがありました。その言葉を聞いたとき、自分の中で葛藤を感じました。主治医、師長へ報告を行い、主治医、看護師、本人、家族を含め、一緒にカンファレンスを行いました。方針は、リスクを受け入れた上で、患者の自由を奪わず、最後のひと時を精一杯楽しみ、最後を迎えるという事になり、ご家族、本人も納得されました。「本当に、本当にありがとう。感謝してもしきれません。」これが最後の言葉でした。様々な看護場面で葛藤やジレンマを抱えることがあります。今後もそのような場면을体験することとなると思いますが、医療者側の意見ももちろん大切ですが、患者主体の医療、看護を提供できるように、スタッフ一丸で考え、日々精進していきたいと思えます。



マイブーム

手術室 山元

私がひそかにハマっていることが、マスキングテープやシールを集めることです。いろんな柄やキャラクターのマスキングテープ、シールを集めているのですが、手帳や事務所のボードなどに張ったりしています。特に可愛いと思ったのが、ハムスターのおしりシールです。集めて2年経ちますが、ハマったきっかけが、文房具屋さんで見かけたシールコーナーでの出会いでした。おすすめのマスキングテープやシールあればぜひ教えてください。



編集後記

毎号、記事提供へのご協力ありがとうございます。今年度も継続して発行していきますので、引き続きよろしくお願い致します。次号には、11月に実施しました看護力検定の結果を紹介できればと思っております。（田口）

